

~ Digest ~

流通BMS[®]普及説明会

導入におけるポイント



2009/10/23
ウルシステムズ株式会社
<http://www.ulsystems.co.jp>
<mailto:info@ulsystems.co.jp>
Tel: 03-6220-1420 Fax: 03-6220-1402

流通BMSの利用シーン

流通BMSは各企業の状況に合わせて様々な方法で使われています。

流通BMSの利用シーン

~ Digest ~

UL Systems, Inc.

■ 流通BMSのメリットを引き出す利用方法

S-S接続、S-C接続として、サーバ/クライアント製品を直接利用するのではなく、既に業務アプリケーションへ組み込まれている製品を利用することで、特別に意識することなく流通BMSを活用することも可能です。

特に、流通BMSの特徴を捉え、以下の3つの活用を前提にした製品がリリースされています。

伝票レス

流通BMSを導入することで、発注～出荷～支払までの一連のビジネスフローにおいてデータの一意性保障。

伝票レスにおいては、税法上は既にクリアされている

業務連携

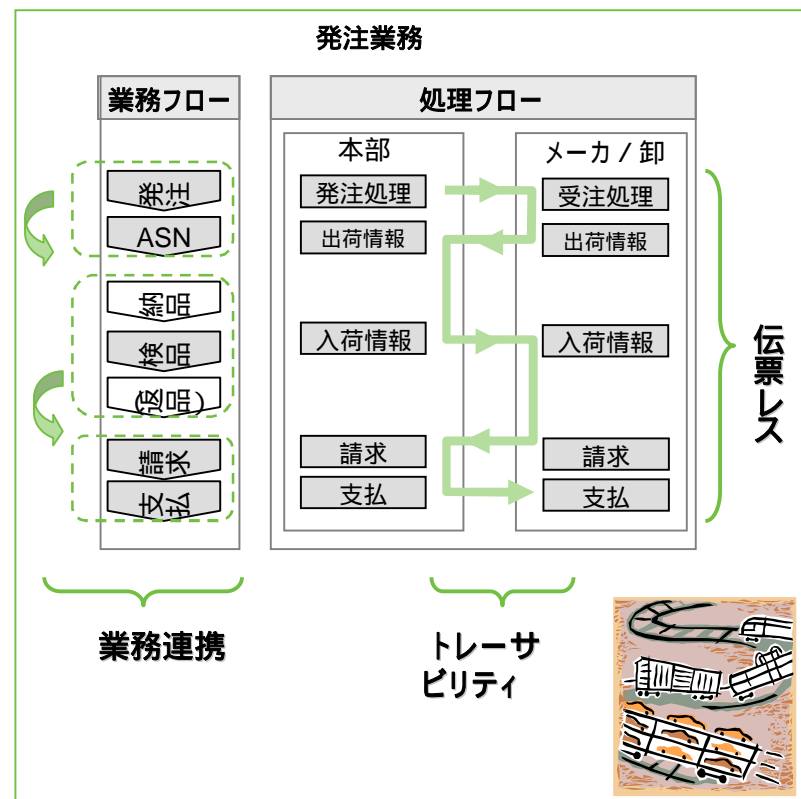
基幹系を含めた既存の仕組みに、流通BMSを組み込む際のポイントはバッチ処理業務の見直し。

バッチ処理を活かしつつ、リアル系の処理を柔軟に取り入れる仕組みが重要

トレーサビリティ

インフラ基盤として流通BMSを利用することで、商品のトレーサビリティを可視化することが可能。

この商品がいつ届き、どの発注と結びついているのかを明確にすること



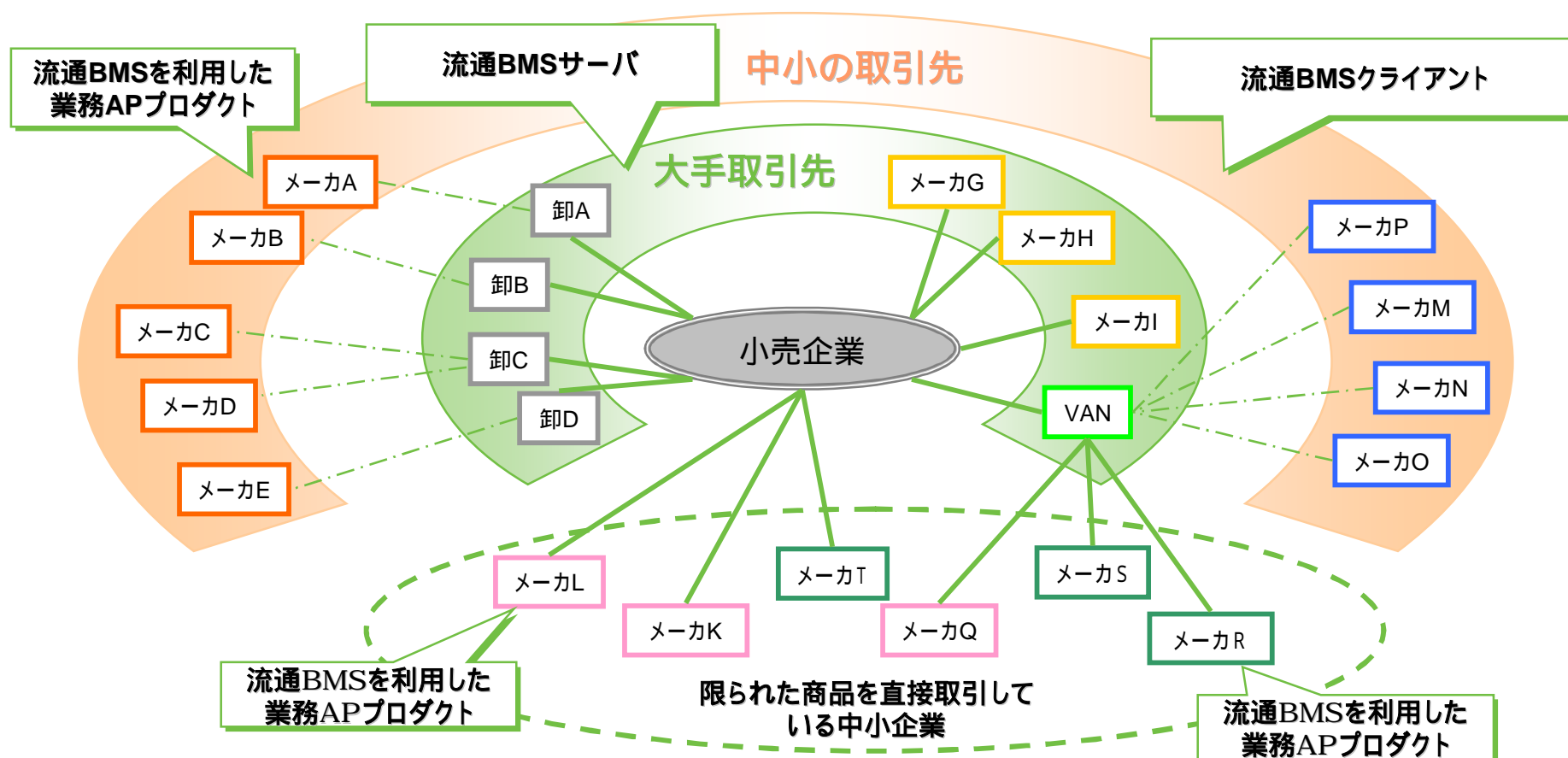
流通BMSの利用シーン

~ Digest ~

UL Systems, Inc.

■ 流通BMSの利用拡大

企業規模、利用する際のトランザクション量、中長期的なシステム計画に応じて、様々な製品を各企業が利用しやすい環境ができつつあります。



流通BMS導入におけるポイント

これまでの導入経験を生かして導入におけるポイントをQA形式で説明させていただきます。

流通BMS導入におけるポイント

~ Digest ~

UL Systems, Inc.

■ 流通BMS導入に際してよく聞かれる質問

質問1: 『流通BMSの導入って大変ですか?』

回答1: 流通BMSに関して詳しく知っていれば簡単ですが、知らないと最初は調べるのに時間がかかるかもしれません。

質問2: 『何をどうやって調べるのがよいですか?』

回答2: 流通BMSの開からずとも複数の資料が出ていますし、相談にものってくれます。支援会員となって更に情報共有する手段もあります。
<http://www.dsri.jp/scs/guide/guide01.html>

質問3: 『もっと楽に導入する方法ってありますか?』

回答3: あります。
SIerや、パッケージベンダーと相談することで、導入経験を活用することが可能です。
最近では、流通BMSを内部で包含した製品やサービスも多くリリースされているので流通BMSに関する詳しい知識なしに導入することが可能です。

【商品マスター + 流通BMS】

【ラベル印刷 + 流通BMS】

【複合機 (Fax、コピー、プリンタ) + 流通BMS】

【ERP + 流通BMS】

質問4: 「どのような導入方法が存在するのでしょうか？」

流通BMSを導入する際には、接続方式(S-S接続、S-C接続)以外に、導入方法としては主に3つ存在します。

自社導入型

VAN/ASP利用型

SaaS利用型

流通BMS導入におけるポイント

~ Digest ~

UL Systems, Inc.

自社導入型

サーバ利用型 (S-S接続)

特徴：小売、卸、メーカー間において、相対する企業がお互いのメッセージをPushする。

常時サーバを立ち上げておく。

大量データ(数万明細/時間)を処理する
可能性がある場合



クライアント利用型 (S-C接続)

特徴：得意先(小売・卸)からのメッセージをPullする。

予め決められた時間に取得する。

これまで電話、Faxで利用していた状態からの置換え。

比較的小規模な取引量の場合



導入当初はクライアント利用型を採用し、流通BMSの取引量が増加 / 中長期的なシステム更改計画と合わせて、サーバ利用型へ移行する場合が多い。

クライアント利用型からサーバ利用型への移行がスムーズに行えることがポイント！

流通BMS導入におけるポイント

~ Digest ~

UL Systems, Inc.

VAN/ASP利用型

特徴 : 流通BMSのサーバ利用型、クライアント利用型に対応。
接続環境・・・予め定められた特定の企業との接続用に用いられることが多い。
拡張性・・・利用するサイズ(H/W、N/W、トランザクション量)を事前に申請。
料金・・・従量制
運用・・・24H×7D。メニューが豊富で柔軟な対応が可能。
カスタマイズ・・・比較的容易。

SaaS利用型

特徴 : すぐに利用可能。
接続環境・・・流通BMSに対応していれば接続する企業に制限はない。
拡張性・・・トランザクション量に応じた増減が比較的容易。
料金・・・従量制、定額制もあり。
運用・・・24H×7D。汎用的な運用メニュー。
カスタマイズ・・・難しい場合が多い。

料金体系、SLA、カスタマイズの容易さに違い。

質問5：『どのくらいの期間が必要ですか？』

回答5： VAN/ASPやSaaSを利用するのであれば、1週間～1ヶ月で利用可能です。
自社導入型でもクライアントを利用する場合は1ヵ月程度、サーバを利用する場合は、2ヶ月程度～6ヵ月程度必要です。



質問6：『うちは、基幹システムとの接続が複雑なんだけど大丈夫ですか？』

回答6： 既存のEDIで扱われているデータ項目に比べて、流通BMSでは格段に多くのデータ項目を扱っていますが、データ項目を全て基幹システムへ取り込む必要はありません。
基本は受けたメッセージにセットされているデータ項目の一部を基幹システムへ取り込み、そのタイミングで一部修正して返信するだけです。

製品紹介

ウルシステムズでは、流通BMSに対応した製品として
ウムラウト/ジェイエックスエムエル
UMLaut/J-XMLを提供しています。

UMLaut/J-XMLによる流通BMS導入の5つの強み

1. 短期導入

UMLaut/J-XMLが提供する業務アダプタおよびUJX-Starter KITオプションにより**業務システムとの連携開発が容易**となり、**流通BMSの低コスト・短期導入を可能**にします。

2. お取引先様のEDI化を促進させるソリューション提供

UJX-Direct Web/MFPオプションを利用すれば、**小規模のお取引先様に投資負担をかけないEDI環境を構築できる**ため、流通BMSの仕組みを活かしながら**EDI化率の向上に貢献**できます。

3. 実績と信頼

UMLaut/J-XMLならば、既に**大手GMS、大手メーカーなどでの導入実績**に加えて、某ASPセンター様で**2年以上にわたり150社以上との取引**に利用されています。

4. 流通BMS仕様変更への対応 (マルチスキーマ対応)

流通BMSの仕様変更 (流通ビジネスメッセージ標準のバージョンアップ) は、機能改修による対応ではなく製品アップグレードで追従していくためにランニングコストを抑えつつ最新のXML-EDIフォーマットでの運用が可能です。

5. 付加価値のあるサービス提供 (伝票明細トレース機能)

受注から物流・決済にいたる一連の取引の間に発生する伝票明細の変化を、常に監視し記録し、その情報を後から確認するための画面を、標準でご用意しています。

製品紹介

~ Digest ~

UL Systems, Inc.

- 流通BMSの導入をサポートする豊富な製品ラインナップを取り揃えております。

カテゴリ	製品名	内容	
eBXML通信手順 サーバ型	UMLaut/J-XML サーバ	標準EDIモデルにおけるサーバ型EDIシステムに対応した製品です。標準でS-S型サーバ、C-S型サーバの両方の機能を搭載しています。業務アダプタを通して、基幹システムと連携します。ファイル連携(固定長・CSV)やDB連携が可能です。	
	オールインワン 製品	OneBoxタイプ	UMLaut/J-XMLのサーバ機能を利用するために必要な製品一式を1つにまとめて提供する「オール・イン・ワン」製品を利用することで、標準EDIシステムを低コスト、かつ短期間で導入することが可能となります。
		クラスタリングタイプ	オールインワン製品には、OneBoxタイプと、クラスタリングタイプの2タイプを用意しています。
	オプション 製品	UJX-Starter KIT	取引先様向けの流通BMS簡易導入パッケージです。発注・出荷・受領・返品 of 4メッセージについて、簡易接続フォーマットCSVで基幹システムと連携します。
		UJX-Direct MFP	リコー社製複合機と接続をして、流通BMSのデータを閲覧、ASNの入力、印刷処理を実行できるオプション製品です。
		UJX-Direct WEB	基幹システムとの接続が難しいがASNを返したいお客様向けの製品です。Web画面からASNを返すことができます。
クライアント型 JX手順	UMLaut/J-XML クライアント	標準EDIモデルにおけるクライアント型EDIシステムに対応した製品です。C-S型クライアントの機能を搭載しています。トランスレータを通して、ファイル出力(CSV・固定長)を行うことができます。	
	総合パッケージ 製品	eB-forBMS	eBASE(イーベース)株式会社の製品が提供する商品マスター(仕様書)管理ツールにUMLaut/J-XMLクライアントをアドオンさせる製品です。
		イシダ 現場力	株式会社イシダのデータ交換ソリューションです。この製品にはUMLaut/J-XMLクライアントが内包されています。

~ Digest ~

まとめ

まとめ

- 流通BMSは、受発注処理に限らず、流通業務全般の作業を効率化させるために有効な規約です。
- 取引先の全てを網羅することで更なる効果を引き出すことが可能であり、そのため各社から様々な製品やサービスが提供されています。
- 導入に際しては、自社導入に限らず、全国のVAN/ASP事業社が提供するサービスを利用することも可能です。
- 特に、最近ではSaaSとして流通BMSのサービスを開始しているため、初期コストをおさえ、今後の利用拡大に合わせてスケールアップするような計画を持たれているお客様際にとっては有効です。

CONFIDENTIAL

本文書は、ウルシステムズ株式会社が著作権その他の権利を有する
営業秘密です。

当社の許可なく複製し、再利用すること、また漏洩することは「著作権法」
および「不正競争防止法」によって禁じられております。

「流通ビジネスメッセージ標準」「流通BMS」は財団法人流通システム開発センターの登録商標です。